



デルファイ調査の 質問項目について

科学技術トピックに対する質問項目及び選択肢の詳細について、
解説しています。

2019年2月
文部科学省
科学技術・学術政策研究所

<専門度>

このトピックに対する専門度を1つ選んでください。

質問内容：この科学技術トピックに対するあなたの専門度（専門性の程度）について、以下から一つ選んでください。

選択肢

- 高：例えば、現在、当該トピックに関連した研究又は業務に従事している（文献による調査研究を含む）等により、当該トピックに関連した専門的知識を持っている、など。
- 中：例えば、過去に当該トピックに関連した研究又は業務に従事したことがある、あるいは、隣接分野の研究又は業務に従事している等により、当該トピックに関連した専門的知識をある程度持っている、など。
- 低：例えば、当該トピックに関連した専門的な本や文献を読んだり、専門家の話を聞いたりしたことがある、など。

<重要度>

30年後の社会を実現するうえで、日本にとっての重要度を1つ選んでください。

質問内容：この科学技術トピックについて、あなたが考える30年後の望ましい社会を実現するうえで、日本にとっての現在の重要度を以下から一つ選んでください。

選択肢

非常に高い、 高い、 どちらでもない、 低い、 非常に低い

※ ここでいう重要度とは、例えば、社会経済発展への寄与、地球的規模の諸問題の解決、生活者ニーズへの対応、人類の知的資源の拡大のいずれかの面からみた、日本にとっての現在の重要度、あるいは複数の面からみた現在の重要度を意味します。

<国際競争力>

現在の日本が置かれた国際競争力の状況を1つ選んでください。

質問内容：この科学技術トピックについて、現在の日本が置かれた国際競争力の状況を以下から一つ選んでください。

選択肢

非常に高い、 高い、 どちらでもない、 低い、 非常に低い

※ここでいう国際競争力とは、主に科学技術の研究開発又はその事業化において日本が有する優位性（当該分野の発展をリードしている等）を意味します。

＜技術的実現＞

世界のどこか（日本を含む）で技術的に実現する時期を予測し、1つ選んでください。

質問内容：この科学技術トピックについて、日本を含む世界のどこかで科学技術的に実現する時期を予測し、以下から一つ選んでください。

選択肢

実現済み、2025年以前、2026～2030年、2031～2035年、
2036～2040年、2041～2045年、2046～2050年、2051年以降、
実現しない、わからない

※ここでいう科学技術的に実現する時期とは、所期の性能を得るなど技術的な環境が整う時期、例えば、研究室段階で技術開発の見通しがつく時期を指します。基礎的研究に関するトピックであれば、原理、現象が科学的に明らかにされる時期を指します。

＜技術的実現のための政策手段＞

技術的実現に向けて求められる政策手段は何ですか？
(複数選択可・任意選択)

質問内容：このトピックについて、科学技術的実現に向け、求められる政策手段を以下から選択してください。(複数選択可・任意選択)

選択肢

- 人材の育成・確保：専門教育等を通じた人材育成及び研究関係従事者（研究者、研究補助者、技能者、研究マネジメント、その他の関係者）の確保
- 研究開発費の拡充：特定テーマ・プロジェクトへの研究開発費の拡充などの資金・支援制度
- 研究基盤整備：研究施設・設備や知的基盤・情報基盤などの基盤整備
- 国内連携・協力：産学官・分野間の連携など国内協力・連携体制の整備
- 国際連携・標準化：国際連携プロジェクトの推進又は標準化など国際的な連携と体制整備
- 法規制の整備：法令・基準の緩和・廃止又は強化・新設
- 倫理的課題への対応：倫理的・法的・社会的課題（ELSI）への対応（ガイドライン策定、社会的コンセンサスづくりなど）
- その他

<社会的実現>

日本で社会的に実現する時期を予測し、1つ選んでください。

質問内容：この科学技術トピックについて、日本を含む世界のどこかでの科学技術的な実現に続き、日本で社会的に実現する時期を予測し、以下から一つ選択してください。

選択肢

実現済み、2025年以前、2026～2030年、2031～2035年、
2036～2040年、2041～2045年、2046～2050年、2051年以降、
実現しない、わからない

※ここでいう社会的に実現する時期とは、実現された技術が製品やサービス等として利用可能な状況となる時期を指します。トピックによっては、普及の時期を指す場合もあります。科学技術以外のトピックであれば、制度が確立する、倫理規範が確立する、価値観が形成される、社会的合意が形成される等の時期を指します。

トピックによっては、日本社会での実現ではなく、日本が主体となって行う国際的な活動により実現する場合も含まれます。

＜社会的実現に向けた政策手段＞

日本での社会的実現に向けて求められる政策手段は何ですか？
(複数選択可・任意選択)

**質問内容：この科学技術トピックについて、日本での社会的実現
に向け、求められる政策手段を以下から選択してください。
(複数選択可・任意選択)**

選択肢

- 人材の育成・確保：専門教育を通じた人材育成、および、研究関係従事者（研究者、研究補助者、技能者、研究事務その他の関係者）の確保
- 事業補助：事業への直接補助・支援
- 事業環境整備：ベンチャーや創業支援のための税制の措置、実証実験環境の整備など事業化のための間接支援施策
- 国内連携・協力：産学官・分野間の連携など国内協力・連携体制の整備
- 国際連携・標準化：国際連携プロジェクトの推進又は標準化など国際的な連携と体制整備
- 法規制の整備：法令・基準の緩和・廃止又は強化・新設
- 倫理的課題の対応：倫理的・法的・社会的課題（ELSI）への対応（ガイドライン策定、社会的コンセンサスづくりなど）
- その他

＜自由記述＞このトピックに、コメント（「その他」の具体的な内容など）がありましたら、記入してください。

質問内容：この科学技術トピックについて、以下の項目に関する特記すべき事柄がありましたらご記入ください。

(1)重要度に関すること、(2)国際競争力に関すること、(3)科学技術的実現に関すること、(4)社会的実現に関すること、(5)科学技術以外の事柄（科学技術だけでは解決できない課題の存在や社会的実現を阻害している具体的な制度など）、(6)その他